

SCAT研究費助成申込書 および研究計画調書記入要領

(1) SCAT研究費助成申込書

1. 「研究代表者」：研究代表者の氏名を記入し、その上段にフリガナを付し、必ず押印してください。漢字を使う習慣のない国の方は、カタカナ表記または英語表記してください。

「所属機関・部署、役職」：たとえば、〇〇大学〇〇学部〇〇学科教授と記入してください。また、記入内容は、略称ではなく、正式名称でお願いします。

「専門分野」：たとえば、電子工学、情報工学と記入してください。

「最終学校名・卒業修了年」：たとえば、〇〇大学平成〇〇年卒、〇〇大学大学院博士課程平成〇〇年修了（または単位取得退学）と記入し、専攻の学部、学科も記入してください。

「学位」：たとえば、〇〇大学〇〇学士、〇〇大学〇〇博士と記入してください。

「連絡先」：研究代表者の所属する機関の郵便番号、住所、電話番号、FAX番号、E-mail アドレスを記入してください。当センターからの、応募内容の照会や応募結果の通知は研究代表者にご連絡します。

2. 「研究テーマ」：テーマ名は、一般的、抽象的な表現を避け、研究内容を具体的に、簡潔にまとめて記入してください（全角40字以内）。なお、化学式、数式の使用はなるべく避けてください。技術分野は、以下の技術分野から1つを選択し、その区分を記入してください。

区分	技術分野
1	光通信・ネットワーク技術とその応用 (光通信方式、デジタル信号処理、音声・画像処理、トラヒック・ルーティング制御、フォトニックネットワークなど)
2	情報処理技術 (ハードウェア、ソフトウェア、データベース、人工知能、自然言語処理など)
3	無線・宇宙通信技術 (無線通信方式、無線アクセス、アンテナ・電波伝搬、放送技術など)
4	マイクロエレクトロニクス・材料技術 (デバイス、分子素子、ナノテクノロジーなど)

(括弧内は例示です)

3. 「助成希望」：助成を希望する年数と総額（助成期間中の支給総額、万円）と支給を受けたい年度毎の支給額（万円）を記入してください。助成希望年数により総額の上限が異なります。

4. 「研究組織・研究分担」: 「役割分担」欄には、初年度の研究計画に対する分担事項を中心に、研究代表者を初め、研究分担者がどのように協力して研究を行うか、研究の全容とそれぞれの関係がわかるように記入してください（全角40字以内）。なお、研究分担者は、研究計画に常時加わる方を記入してください。単独で応募の場合は、研究の全容について記入してください。

(2) 研究計画調書

1. 「研究テーマ」: テーマ名は、前頁(1) - 2. と同じものを記入してください。
2. 「研究目的」: 助成を希望する年限を含む将来に亘って行おうとする研究において、何をねらい、何をどこまで実現しようとするのかなど、研究者の考えを具体的に記入してください。また、研究内容とこの助成の趣旨との関連についても記入してください。
3. 「研究の特徴」: この研究の独創性、新規性などについて記入してください。
4. 「研究の意義」: この研究の波及効果、発展性、将来性などについて記入してください。
5. 「これまでの研究経緯、成果、および、準備状況」: この研究計画に関連して、これまでの研究経緯・成果と、この研究計画を進める上での準備状況について記入してください。
6. 「他機関からの助成状況、および、共同研究状況」: 他機関から助成金を受ける(予定・内定を含む)場合、あるいは、他研究機関との共同研究の対象である場合には、他機関名、助成金額について記入してください。
7. 「研究に関する国内および国外の研究状況」: この研究計画に関連する国内外の当該研究の位置付けや研究状況などについて記入してください。
8. 「研究業績」: 最近5年間に学術誌等に発表した研究代表者および研究分担者の論文、著作のうち重要なものを記入してください。なお、これらのうち、主要な論文については、5件以内で、写し(A4サイズに統一したもの)を添付してください。
9. 「研究費助成金計画」: 「助成希望額」欄には、助成を希望する総額(助成期間中の支給総額、万円)と支給を受けたい年度毎の支給額(万円)を記入してください。研究計画と支出予定欄には、単なる研究スケジュールではなく、研究目的を達成するためにどのような研究方法で行うのか実行計画を年度別に具体的に記入してください。主な支出予定については使途、数量、金額を記入してください。なお、助成金の使途は採用選考の指標とはしませんが、助成金額の決定のための資料としますので、できるだけ具体的に記入してください。

以上